

「問題解決しないといけない業務が山積」で困っていた企業

# 問題が山積み!! 「どこから手を付けたらいいのか」を解決できるのか?

2社程度まで  
無料フォローアップ  
します。

## 研究事例プレゼン

### 企業で支援してきた「生産性改善支援」

「改善が多すぎて何から手をつけていいかわからない」「課題のプロセスが複雑、頭の整理が追いつかない」「気がつく」と残業ばかり」に困っているその対応事例と方法を紹介する

課題の整理と優先順位づけができ、改善計画が立てられる  
管理者の負荷が減ってラクになる、管理者の時間ができる  
メンバー1人1人が目標と役割を認識し、自走型の組織になる  
チャレンジ精神から成功率も上がる  
新しいことに取り組む組織風土に変わる



テーマ⑬ 問題の山を崩せ! 「課題解決の対処法」 (課題解決研究交流会)

日時: 第1回 11月13日(水) 10:00~16:00

対象者: 現場指導、現場管理者課長の方々

会場: 名古屋駅近郊 会議室

講師: 小林 達哉 氏 (株式会社経営技術フロンティア 代表取締役)

製造業及び物流業で製造現場の進捗管理、生産性管理、物流管理の管理実務を10年以上担当。その間、製造現場の改善活動、進捗管理、QCD(品質・コスト・納期)の向上、社員育成に関するノウハウを蓄積する。退職後は、株式会社技術経営フロンティアを設立し、中小製造業を中心に工場や物流センターの現場改善、業務の効率化、生産性向上の仕組みづくり、管理者育成、社員の能力アップ等の実務支援を行っている。

参加費: 中産連会員: 36,300円/回 (中産連会員外: 39,600円/回)

お問合せ

一般社団法人中部産業連盟 社会貢献事業部 受託事業部 加藤  
TEL: 052-931-3189(直) chs@chusanren.or.jp

# テーマ⑬ 「問題の山を崩せ! 「課題解決の対処法」」の詳細内容

## 1. 活動導入の手順紹介

- (1) 講座の紹介・自己紹介
- (2) 研究事例と問題点
- (3) 成功要因は課題の論点整理

## 2. 課題の論点整理

- (1) 情報収集と課題項目の洗い出し
- (2) 課題の分類整理
- (3) 課題系統図作成
- (4) 実践ワークとディスカッション

## 3. 具体的な実行計画の立て方・進め方

- (1) 目標設定の方法
- (2) 具体的な実行計画の描き方
- (3) 進捗管理と修正の方法
- (4) 実践ワークとディスカッション

## 4. 組織を動かし成果を上げる

- (1) 効果の上がるチームマネジメント
- (2) 内発的動機付けによる目標達成行動
- (3) 成果の評価とフィードバック
- (4) まとめとディスカッション

## フォローアップ（希望する企業様）

受講後に自社課題の明確化・解決に向けたフォローアップを、希望者に対して1回3時間程度実施します。お気軽にお申し込みください。定員：2社程度

## 【課題解決研究交流会】

「課題解決研究交流会」は、外部のプロフェッショナル集団である外部プロ人材が、企業で解決した問題や得た知見・経験を基に、「ゼミ方式」により参加者が自らの発表や討論を通じて学びを深める場です。各研究テーマに関わる参加者同士の交流を通じて、課題解決に向けたアイデアや取り組みに気づきを得ることを目指しています。

※この交流会は、人材育成の一環として実施される「一般的な職務上必要となるスキルや知識を身に付ける研修会」ではありません。



申込書「課題解決の対処法」(11/13) フォローアップ  FAX：0120-342-340

フォローアップを希望される企業はをお付け下さい。↑

会社名	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員外	申込責任者役職	
所在地	〒	申込責任者氏名	(フリガナ) -----
電話		メールアドレス	
①参加者役職		②参加者役職	
①参加者名	(フリガナ) -----	②参加者名	(フリガナ) -----

※ご案内したテーマにかかわらず、人材が貴社に伺い、企業内伴走支援及び集合教育を実施する事も可能です。今回ご記入頂いた個人情報は、セミナー等の運営・情報提供（郵便、メール、FAX等）においてのみ使用致します。

関連情報等が不要の場合、右記にレ点をご記入ください。

セミナー等の情報提供を希望しない

# 企業で支援したHowToを紹介します！

## 令和6年度 課題解決研究交流会 【リーダー！どうするその課題】

企業や個人が直面するさまざまな課題に対して、効果的な解決策を見つけることは重要です。課題解決研究交流会では、解決事例を探索し、具体的な対応方法を紹介します。

### 【問題の特定と分析】

直面している問題を明確に定義し、詳細に分析します。  
これにより、問題の本質や原因を理解することができます。

### 【事例の収集】

類似の問題を経験した他の企業や個人の事例が収集できます。

### 【解決策の選択】

収集した事例から解決策を抽出し、その効果を考える機会を得ます。  
コスト、時間、リソースの観点から最適な解決策を検討できます。

### 【実行とフィードバック】

受講後に選択した解決策を実行し、その結果をモニタリングできます。  
必要に応じて専門の講師が企業に訪問し、指導を行うことも可能です。

課題解決研究交流会では、このようなプロセスを通じて効果的な対応事例と方法を共有し、参加者が自分の問題解決に役立てられるよう支援します。

### 企業が抱える課題

現状の改善をしているが期待よりも効果が出ていない・・・  
販売ルートをどの様に広げていけるかわからない・・・

### 外部プロ人材の経験値

職場改善の支援・コンサルティング  
経験を活用した販路開拓の支援  
人材育成の支援 など



**課題**  
(お困り事)



### 解決事例の探索

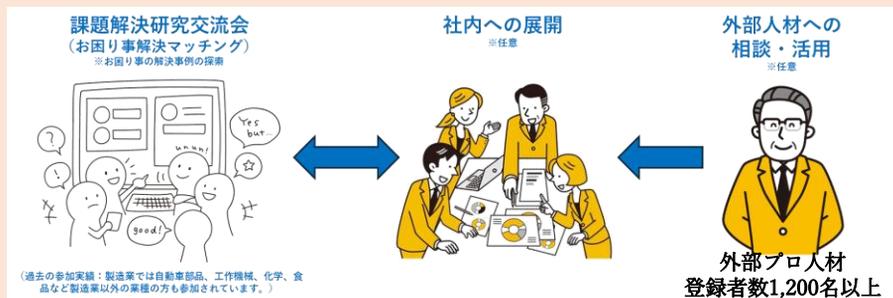
(過去の参加実績：製造業では自動車部品、工作機械、化学、食品など製造業以外の業種の方も参加されています。)



**経験**

# 「課題解決研究交流会」とは、

「課題解決研究交流会」は、外部のプロフェッショナル集団である外部プロ人材が、企業で解決した問題や得た知見・経験を基に、「ゼミ方式」により参加者が自らの発表や討論を通じて学びを深める場です。各研究テーマに関わる参加者同士の交流を通じて、課題解決に向けたアイデアや取り組みに気づきを得ることを目指しています。※この交流会は、人材育成の一環として実施される「一般的な職務上必要となるスキルや知識を身に付ける研修会」ではありません。



No.	テーマ	講師	日程
①	指示待ち部下の育成法	柘植 吉則	①令和6年 5月23日(木) ② 10月9日(水) ③令和7年 2月19日(水)
②	指示に頼り「自主的な行動をあまり取らない社員の動機付け」	小林 達哉	①令和6年 7月25日(木) ② 12月12日(木)
③	在庫差異を解決した実践法	小林 達哉	①令和6年 6月20日(木) ② 11月21日(木)
④	出荷ミス・ピッキングミスを“0”にした対策	小林 達哉	①令和6年 5月30日(木) ② 10月22日(火)
⑤	ルールを守る職場にする実践法	小林 達哉	①令和6年 9月12日(木) ②令和7年 2月27日(木)
⑥	教えるべき作業・考えてもらう仕事の明確化	小林 達哉	①令和6年 6月13日(木) ② 11月14日(木) ③令和7年 2月20日(木)
⑦	「主要業務の属人化」を解消する対策	小林 達哉	①令和6年 5月22日(水) ② 8月1日(木) ③令和7年 1月30日(木)
⑧	部下の目標達成に向けた「リーダーの支援」	柘植 吉則	①令和6年 6月26日(水) ② 9月4日(水) ③令和7年 2月12日(水)
⑨	業績や成果を向上させた「マンネリ化した活動改善」	柘植 吉則	①令和6年 7月11日(木) ② 9月18日(水) ③ 12月4日(水)
⑩	人事・労務データの分析と活用	清水 弘之	①令和6年 8月29日(木) ②令和7年 1月21日(火)
⑪	管理・間接業務の効率化とDX化	清水 弘之	①令和6年 7月30日(火) ② 10月16日(水)
⑫	リーダーシップリスクリリングの進め方	柘植 吉則	①令和6年 6月6日(木) ② 11月27日(水)
⑬	山積する問題の対処法	小林 達哉	①令和6年 11月13日(水)